

Ⅱ 特 用 作 物

1. てんさい

- (1) リゾマックス (系統名 H133R) 2005年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第57号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち「ユキヒノデ」より収量性が高く、品質がやや優れる。

来歴 本品種は、オランダのアドバンタ社が二倍体単胚雄性不稔系統「HDKPP912208」を種子親に、二倍体多胚系統「HC561425B」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2001年にホクレン農業共同組合連合会が輸入し、2002年から「H133R」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は中間、葉長は中、葉数はやや多である。根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。

2. 根重は「ユキヒノデ」より重く、根中糖分は低く、糖量は多い。
3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素およびカリウムが「ユキヒノデ」並で、ナトリウムが低く、不純物価は「ユキヒノデ」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「ユキヒノデ」より強い強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「ユキヒノデ」と同様の強、褐斑病抵抗性が「ユキヒノデ」よりやや弱いや強、根腐病抵抗性が「ユキヒノデ」より強いや強、黒根病が「ユキヒノデ」よりやや弱中である。
6. 耐湿性は「ユキヒノデ」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、根腐病抵抗性がやや強であるが、通常の防除を行うこと、根中糖分が低いので北海道施肥基準を越えるような多肥栽培は避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	リゾマックス	7.70	17.42	1,340	111	99	110	87	2002, 2004
	モノホマレ	6.91	17.61	1,215	100	100	100	100	
北 見 農 試	リゾマックス	7.09	17.85	1,266	112	98	110	85	2002~2004
	モノホマレ	6.35	18.16	1,154	100	100	100	100	
	ユキヒノデ	6.25	18.48	1,155	98	102	100	95	
中 央 農 試	リゾマックス	9.46	15.62	1,476	106	100	106	97	2002~2004
	モノホマレ	8.89	15.68	1,391	100	100	100	100	
	ユキヒノデ	8.93	15.98	1,424	100	102	102	100	
上 川 農 試	リゾマックス	8.42	17.92	1,508	112	98	109	89	2002~2004
	モノホマレ	7.54	18.25	1,378	100	100	100	100	
	ユキヒノデ	8.03	18.32	1,470	106	100	107	102	

注) 中央農試の不純物価は2003, 2004年平均

- 参照** 1) 北海道農務部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 63-65 (2005)。
2) 有田敬俊 等, 北海道立農試集報. 89,43-46 (2005)。

- (2) クローナ (系統名 HT22) 2006年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第58号

セールスポイント

「スコーネ」より根中糖分が高く、糖量が優れる。

来歴 本品種は、スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体雄性不稔系統「MS402-E」を種子親に、四倍

体多胚系統「4X/12」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2001年に北海道糖業株式会社が輸入し、2002年から「HT22」の系統名で各種の試験を行い、2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長は中、葉数はやや少である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

- 根重は「スコーネ」並で、根中糖分は高く、糖量はやや多い。
- 有害性非糖分は、アミノ態窒素、カリウムおよびナトリウムが「スコーネ」並で、不純物価は「スコーネ」並である。
- 抽苔耐性は「スコーネ」と同じ強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性および根腐病抵抗性が「スコーネ」並の弱で、黒根病抵抗性が「スコーネ」よりやや弱中である。そう根病抵抗性はない。

6. 耐湿性は「スコーネ」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性および根腐病抵抗性が弱なので適切な防除に努めること、黒根病抵抗性が中であるが、多湿となった圃場では黒根病の発生が多い傾向があるので排水不良な圃場での栽培を避けること、そう根病抵抗性を持たないので発病圃場での栽培を避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ク ロ ー ナ	7.07	18.62	1,316	101	107	107	85	2002, 2004, 2005
	モ ノ ホ マ レ	7.03	17.46	1,226	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	6.99	18.03	1,259	99	103	103	90	
北 見 農 試	ク ロ ー ナ	6.30	19.40	1,222	98	106	104	86	2002~2005
	モ ノ ホ マ レ	6.43	18.29	1,177	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	6.62	18.73	1,241	103	102	105	93	
中 央 農 試	ク ロ ー ナ	8.92	16.19	1,442	100	105	106	91	2002~2005
	モ ノ ホ マ レ	8.90	15.35	1,363	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	8.88	15.88	1,407	100	103	103	88	
上 川 農 試	ク ロ ー ナ	7.78	18.94	1,470	100	105	105	92	2002~2005
	モ ノ ホ マ レ	7.75	18.02	1,395	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	7.88	18.35	1,445	102	102	104	95	

注) 中央農試の不純物価は2003~2005年平均

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2006)。
2) 有田敬俊 等, 北海道立農試集報. 91,65-69 (2007)。

- (3) アニマート (系統名 H134) 2006年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第59号

セールスポイント

「アーベント」, 「アセンド」並の糖量で根中糖分が高く, 品質がやや優れる。

来歴 本品種は、ベルギーのセスバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B8,13,4」を種子親に、四倍体多胚系統「T53/35」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2002年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2003年から「H134」の系統名で各種の試験を行い、2006年に優良品種となった。

特性概要

- 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。根形はやや短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
- 根重は「アーベント」, 「アセンド」より低く、根

中糖分は高く、糖量は並である。

- 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「アーベント」並で「アセンド」よりやや低く、カリウムおよびナトリウムが「アーベント」, 「アセンド」並で、不純物価は「アーベント」, 「アセンド」よりやや低い。
- 抽苔耐性は「アーベント」, 「アセンド」並の強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性が「アーベント」, 「アセンド」並の弱, 根腐病が「アーベント」, 「アセンド」並のやや弱, 黒根病抵抗性が「アセンド」並の中である。そう根病抵抗性はない。
- 耐湿性は「アーベント」並で、「アセンド」よりやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は弱なので適切な防除に努めること、黒根病抵抗性が中であるが多湿と成った圃場では黒根病の発生が多い傾向にあるので排水不良な圃場での栽培を避けること、

そう根病抵抗性を持たないので発病圃場での栽培を避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ア ニ マ ー ト	7.09	18.14	1,285	98	105	103	80	2004, 2005
	モ ノ ホ マ レ	7.22	17.29	1,247	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	7.01	18.02	1,263	97	104	101	89	
	ア セ ン ド	7.53	17.78	1,338	104	103	107	88	
北 見 農 試	ア ニ マ ー ト	6.76	19.54	1,321	103	106	109	81	2003~2005
	モ ノ ホ マ レ	6.56	18.52	1,215	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	6.81	18.85	1,282	104	102	106	99	
	ア セ ン ド	6.98	18.75	1,307	106	101	108	99	
中 央 農 試	ア ニ マ ー ト	8.82	16.11	1,420	96	106	102	85	2003~2005
	モ ノ ホ マ レ	9.17	15.20	1,391	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	9.22	15.71	1,448	101	103	104	91	
	ア セ ン ド	9.33	15.69	1,463	102	103	105	87	
上 川 農 試	ア ニ マ ー ト	8.50	18.77	1,595	104	104	108	80	2003~2005
	モ ノ ホ マ レ	8.16	18.08	1,474	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	8.62	18.43	1,587	106	102	108	93	
	ア セ ン ド	8.64	18.60	1,605	106	103	109	85	

参照 1) 北海道農務部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2006)。

2) 佐藤三佳子 等, 北海道立総合研究機構農試集報. 95, 51-55 (2011)。

(4) かちまる (系統名 KWS 4 S 6 5) 2007年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第60号

セールスポイント

「えとぴりか」より収量性がやや高く黒根病抵抗性がやや優る。

来歴 本品種は, ドイツのKBS種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 8A 3768」を種子親に, 四倍体多胚系統「PS 0X8015」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2002年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 2004年から「KWS4S65」の系統名で各種の試験を行い, 2007年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数は中である。根形

はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「えとぴりか」よりやや重く, 根中糖分はやや低く, 糖量はやや多い。

3. 有害性非糖分は, アミノ態窒素, カリウムおよびナトリウムが「えとぴりか」並で, 不純物価は高い。

4. 抽苔耐性は「えとぴりか」と同じ強である。

5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性が「えとぴりか」並の弱, 根腐病抵抗性がやや強いやや弱, 黒根病抵抗性がやや強いやや強である。そう根病抵抗性は持たない。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努めること, そう根病抵抗性を持たないで発病圃場での栽培は避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	か ち ま る	7.80	18.32	1,427	110	102	113	91	2004~2006
	モ ノ ホ マ レ	7.08	17.89	1,261	100	100	100	100	
	え と び り か	7.01	18.73	1,311	99	105	104	78	
十 勝 農 試	か ち ま る	7.75	17.08	1,329	111	101	113	86	2004~2006
	モ ノ ホ マ レ	6.98	16.84	1,178	100	100	100	100	
	え と び り か	7.13	17.59	1,256	102	104	107	74	
中 央 農 試	か ち ま る	10.19	15.12	1,544	110	102	112	86	2004, 2005
	モ ノ ホ マ レ	9.27	14.82	1,373	100	100	100	100	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	えとびりか	9.55	15.76	1,507	103	106	110	73	2004, 2005
上 川 農 試	かちまる	8.79	18.46	1,614	108	103	110	91	2004, 2005
	モノホマレ	8.15	17.95	1,461	100	100	100	100	
	えとびりか	8.30	19.04	1,577	102	106	108	84	

参照 1) 北海道農務部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (2007)。

2) 山崎敬之 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 96, 47-51 (2012)。

(5) レミエル (系統名 H135) 2008年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第61号

セールスポイント

「アセンド」より糖量がやや多く, 品質が優れる。

来歴 本品種は, ベルギーのセスパンデルハーベ種子会社育成の二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B,13,4」を種子親に, 四倍体多胚系統「T103/98」を花粉親として, 育成した三倍体単胚の一代雑種である。2003年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し, 2004年から「H135」の系統名で各種の試験を行い, 2008年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数はやや多である。

根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重, 根中糖分は「アセンド」並で, 糖量は「アセンド」よりやや多い。

3. 有害性非糖分は, アミノ態窒素が「アセンド」よりやや低く, カリウムが同程度, ナトリウムが低く, 不純物価は「アセンド」よりやや低い。

4. 抽苔耐性は「アセンド」と同じ強である。

5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性が「アセンド」並の弱, 根腐病抵抗性が「アセンド」並のやや弱, 黒根病抵抗性が「アセンド」並の中である。そう根病抵抗性はない。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性が弱なので, 適切な防除に努めること, そう根病抵抗性を持たないので, 発病圃場では栽培しないことが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	レミエル	7.31	18.37	1,341	104	103	108	84	2004~2007
	モノホマレ	7.04	17.77	1,247	100	100	100	100	
	アセンド	7.44	18.16	1,346	106	102	108	90	
十 勝 農 試	レミエル	7.55	16.82	1,270	107	101	109	82	2004~2007
	モノホマレ	7.03	16.61	1,169	100	100	100	100	
	アセンド	7.38	16.9	1,247	105	102	107	91	
中 央 農 試	レミエル	9.64	15.31	1,474	104	103	107	80	2004, 2005
	モノホマレ	9.27	14.82	1,373	100	100	100	100	
	アセンド	9.38	15.35	1,439	101	104	105	84	
上 川 農 試	レミエル	8.67	18.41	1,595	106	103	109	89	2004, 2005
	モノホマレ	8.15	17.95	1,461	100	100	100	100	
	アセンド	8.58	18.56	1,589	105	103	109	83	

注) 十勝農試の不純物価は2004~2006年平均

参照 1) 北海道農務部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (2008)。

2) 山崎敬之 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 96, 53-57 (2012)。

(6) リッカ (系統名 HT28) 2008年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第62号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、「モリーノ」より収量性が優る。また褐斑病抵抗性を持ち、被害軽減が期待できる。

来歴 本品種は、スウェーデンのシンジュンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-412-0」を種子親に、二倍体多胚系統「2X/62」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2004年に北海道糖業株式会社が輸入し、2005年から「HT28」の系統名で各種の試験を行い、2008年に優良品種となった

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長はやや長、葉数はやや多である。根形は円錐形、露肩はやや多で分岐根は少である。
2. 根重は「モリーノ」、「クローナ」より重く、根中

糖分は「モリーノ」より高く「クローナ」よりやや低く、糖量は「モリーノ」、「クローナ」より多い。

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素およびカリウムが「モリーノ」よりやや低く「クローナ」並、ナトリウムが「モリーノ」、「クローナ」より低く、不純物価は「クローナ」並で「モリーノ」より低い。
4. 抽苔耐性は「モリーノ」、「クローナ」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「モリーノ」と同様の強、褐斑病が「モリーノ」並で「クローナ」より強いやや強、根腐病抵抗性が「モリーノ」、「クローナ」よりやや強いやや弱、黒根病抵抗性が「モリーノ」よりやや強く「クローナ」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、多湿圃場で黒根病が多発した試験例があり、適切な排水対策に努めることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	リ ッ カ	7.84	18.08	1,416	110	103	114	82	2005~2007
	モ ノ ホ マ レ	7.11	17.55	1,244	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	7.43	17.53	1,299	105	100	104	116	
	ク ロ ー ナ	7.03	18.61	1,302	99	106	105	86	
十 勝 農 試	リ ッ カ	8.25	16.91	1,393	118	103	122	88	2005~2007
	モ ノ ホ マ レ	6.99	16.34	1,143	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	7.54	16.34	1,232	108	100	108	113	
	ク ロ ー ナ	7.23	17.20	1,243	103	105	109	86	
中 央 農 試	リ ッ カ	9.30	14.61	1,359	104	102	106	77	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.92	14.37	1,279	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	8.81	13.92	1,225	99	97	96	101	
	ク ロ ー ナ	8.83	15.27	1,349	99	106	105	89	
上 川 農 試	リ ッ カ	9.54	17.46	1,664	114	101	115	90	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.36	17.34	1,447	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	8.16	17.60	1,435	98	101	99	112	
	ク ロ ー ナ	8.29	18.28	1,514	99	105	105	94	

注) 十勝農試の不純物価は2005、2006年平均

- 参照** 1) 北海道農務部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-15 (2008)。
2) 山崎敬之 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 97, 53-57 (2013)。

(7) ゆきまる (系統名 KWS5R16) 2009年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第63号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、根中糖分も一般品種並で「きたさやか」より高い。

来歴 本品種は、ドイツのKWS種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 0J 1799」を種子親に、二倍体多胚系統「PS 0R 7621」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2005年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、2007年から「KWS5R16」の系統名で各種の試験を行い、2009年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立，葉長は中，葉数は中である。根形はやや短円錐形，露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「きたさやか」よりやや軽く，根中糖分は「きたさやか」より高く，糖量は「きたさやか」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は，アミノ態窒素が「きたさやか」よりやや高く，カリウムが同様，ナトリウムが「きたさやか」より低い。不純物価は「きたさやか」よりやや高い。

4. 抽苔耐性は「きたさやか」と同じ強である。
5. 耐病性は，そう根病抵抗性が「きたさやか」と同様の強，褐斑病と黒根病抵抗性が「きたさやか」より弱く，それぞれやや弱と中，根腐病抵抗性が「きたさやか」並の弱である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は，褐斑病がやや弱，根腐病が弱なので，適切な防除につとめることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	ゆ き ま る	7.74	18.30	1,414	111	102	114	92	2005～2008
	モ ノ ホ マ レ	6.99	17.87	1,245	100	100	100	100	
	き た さ や か	7.74	17.31	1,336	111	97	107	79	
十 勝 農 試	ゆ き ま る	7.29	17.29	1,259	107	103	111	100	2005～2008
	モ ノ ホ マ レ	6.81	16.73	1,139	100	100	100	100	
	き た さ や か	8.04	16.43	1,317	118	98	116	79	
中 央 農 試	ゆ き ま る	8.92	14.75	1,315	100	103	103	88	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.92	14.37	1,279	100	100	100	100	
	き た さ や か	9.18	13.82	1,269	103	96	99	83	
上 川 農 試	ゆ き ま る	8.55	17.93	1,533	102	103	106	101	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.36	17.34	1,447	100	100	100	100	
	き た さ や か	9.06	16.54	1,498	108	95	104	91	

注) 十勝農試の不純物価は2005，2006年平均

- 参照 1) 北海道農務部編，平成21年普及奨励ならびに指導参考事項，5-8 (2009)。
2) 佐藤三佳子 等，北海道立総合研究機構農試集報. 95, 56-60 (2011)。

(8) リポルタ (系統名 HT30) 2010年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第65号

セールスポイント

これまでにない4病害複合抵抗性品種である。

来歴 本品種は，スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HI0130xHI0427」を種子親に，二倍体多胚系統「HI0380」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2006年に北海道糖業株式会社が輸入し，2007年から「HT30」の系統名で各種の試験を行い，2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立，葉長は中，葉数は中である。根形は円錐形，露肩はやや多く分岐根は少である。
2. 根重は「クローナ」よりやや重く「リッカ」より軽く，根中糖分は「クローナ」よりやや低く「リッカ」

並，糖量は「クローナ」よりやや高く「リッカ」よりやや低い。

3. 有害性非糖分は，アミノ態窒素およびカリウムが「クローナ」，「リッカ」より低く，ナトリウムが「クローナ」より低く「リッカ」並，不純物価は「クローナ」，「リッカ」より低い。
4. 抽苔耐性は「クローナ」，「リッカ」よりやや弱いやや強である。
5. 耐病性は，そう根病抵抗性が「リッカ」同様の強，褐斑病，根腐病抵抗性が「クローネ」，「リッカ」より強い強，黒根病抵抗性が「クローネ」，「リッカ」より強いやや強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意として，抽苔抵抗性がやや強であるため他の品種より抽苔しやすく，早期播種や，過度の低温による馴化処理はさけることが挙げられる。また各種病害に抵抗性があるが，全く罹病

しない訳ではないので、防除は必要である。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	リ ボ ル タ	7.23	18.68	1,350	107	102	109	70	2007～2009
	モ ノ ホ マ レ	6.77	18.37	1,243	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	7.07	19.19	1,356	104	104	109	86	
	リ ッ カ	7.65	18.72	1,431	113	102	115	92	
十 勝 農 試	リ ボ ル タ	6.74	17.75	1,190	107	103	110	68	2007～2009
	モ ノ ホ マ レ	6.32	17.15	1,079	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	6.54	17.91	1,162	103	104	108	81	
	リ ッ カ	7.34	17.55	1,280	116	102	119	84	

注) 十勝農試の不純物価は2007年のみ

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-16 (2010)。
2) 佐藤三佳子 等, 北海道立総合研究機構農試集報. 96, 59-65 (2012)。

(9) パピリカ (系統名 H137) 2010年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第66号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、「レミエル」等の近年導入された一般品種よりも根重が重く糖量が多い。

来歴 本品種は、ベルギーのセスバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HDKPP912037」を種子親に、二倍体多胚系統「HC13028」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2005年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2006年から「H137」の系統名で各種の試験を行い、2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は中、葉数は多である。根形はやや短円錐形、露肩はやや多で分岐根は少である。
2. 根重は「レミエル」、「リゾマックス」より重く、根中糖分は「レミエル」並で「リゾマックス」より高

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「レミエル」、「リゾマックス」より低く、カリウムが同程度、ナトリウムが「レミエル」並で「リゾマックス」より低い。不純物価は「レミエル」、「リゾマックス」並である。
4. 抽苔耐性は「レミエル」、「リゾマックス」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「レミエル」、「リゾマックス」同様強、褐斑病抵抗性が「リゾマックス」より弱く「レミエル」よりやや強いやや弱、根腐病抵抗性が「リゾマックス」より弱く「レミエル」並のやや弱、黒根病抵抗性が「リゾマックス」「レミエル」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、褐斑病、根腐病がやや弱なので、適切な防除につとめることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	パ ピ リ カ	7.99	18.33	1,458	114	102	116	78	2006～2009
	モ ノ ホ マ レ	7.01	17.92	1,252	100	100	100	100	
	レ ミ エ ル	7.47	18.54	1,382	107	103	110	80	
	リ ゾ マ ッ ク ス	8.16	17.78	1,447	116	99	116	79	
十 勝 農 試	パ ピ リ カ	7.59	17.50	1,324	119	104	124	80	2006～2009
	モ ノ ホ マ レ	6.37	16.85	1,070	100	100	100	100	
	レ ミ エ ル	6.93	17.02	1,171	109	101	109	79	
	リ ゾ マ ッ ク ス	7.40	17.14	1,262	116	102	118	77	

注) 十勝農試の不純物価は2006, 2009年平均

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 17-20 (2010)。
2) 佐藤三佳子 等, 北海道立総合研究機構農試集報. 96, 67-71 (2012)。

(10) アマホマレ (系統名 北海98号) 2010年
 登録番号：(北海道) てんさい北海道交第64号
 (種苗法) 第22384号

セールスポイント

糖量が既存の普及品種と遜色がないにもかかわらず、根中糖分が高い。

来歴 本品種は、北海道農業研究センターがベルギーのセスバンデルハーベ種子会社との共同研究によって育成したもので、北農研育成の二倍体単胚雄性不稔系統「JMS-59」を種子親に、セスバンデルハーベ育成の四倍体多胚系統「PKS5335」を花粉親として交配した三倍体単胚の一代雑種である。2004年に交配を行い、2007年から「北海98号」の系統名で各種の試験を行い、2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は中間、葉長は長、葉数はやや多である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「モノホマレ」よりやや重く、根中糖分は高く、糖量は多い。
3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素、カリウム、ナトリウムが「モノホマレ」より低く、不純物価は低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」、と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が弱、褐斑病抵抗性が「クローネ」「えとぴりか」「レミエル」より強い中、根腐病、黒根病抵抗性が「クローネ」「えとぴりか」「レミエル」並の弱および中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、そう根病抵抗性が弱なので発生圃場での栽培は避けること、根腐病抵抗性が弱なので適切な防除に努めることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 農 研	ア マ ホ マ レ	7.24	19.33	1,400	102	105	108	77	2007~2009
	モ ノ ホ マ レ	7.09	18.35	1,300	100	100	100	100	
北 見 農 試	ア マ ホ マ レ	7.01	19.58	1,371	104	107	110	74	2007~2009
	モ ノ ホ マ レ	6.77	18.37	1,243	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-42 (2010)。

(11) ラテール (系統名 H139) 2012年
 登録番号：(北海道) てんさい輸交第68号

セールスポイント

“強”の褐斑病抵抗性を持ち、そう根病抵抗性も持つ。また「スタウト」より根重、根中糖分が優れ、糖量が多い。

来歴 本品種は、ベルギーのセスバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HC13017」を種子親に、二倍体多胚系統「HS01A2226」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2007年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2008年から「H139」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長は中、葉数はやや多である。

根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「スタウト」よりやや重く、根中糖分は「スタウト」より高く、糖量は「スタウト」より多い。
3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「スタウト」より低く、カリウム、ナトリウムが同程度で、不純物価は「スタウト」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「スタウト」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が強、褐斑病抵抗性が「スタウト」並の強、根腐病抵抗性が「スタウト」より弱い弱、黒根病抵抗性が「スタウト」並のやや強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、根腐病が弱なので、適切な防除に努めることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	ラ テ ー ル	7.44	18.56	1,374	108	105	113	75	2008～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.89	17.7	1,217	100	100	100	100	
	ス タ ウ ト	7.02	17.94	1,254	102	101	103	88	
十 勝 農 試	ラ テ ー ル	6.35	17.66	1,117	106	106	112	74	2008～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.00	16.63	997	100	100	100	100	
	ス タ ウ ト	6.03	16.93	1,017	101	102	102	80	

注) 不純物価は北見農試が2008、2009年平均、十勝農試が2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 17-19 (2012)。

(12) クリスター (系統名 HT32) 2012年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第69号

セールスポイント

「フルーデンR」並の高糖分品種でありながら, そう根病抵抗性, 褐斑病, 黒根病の3病害に複合抵抗性を持ち, 「クローナ」「フルーデンR」よりも糖量が多い。

来歴 本品種は, スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HI0378×HI0377」を種子親に, 二倍体多胚系統「HI0341」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2008年に北海道製糖株式会社が輸入し, 2009年から「HT32」の系統名で各種の試験を行い, 2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数はやや少である。

根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「フルーデンR」より重く, 「クローナ」並

で, 根中糖分は「フルーデンR」, 「クローナ」並で, 糖量は「フルーデンR」より多く, 「クローナ」より多い。

3. 有害性非糖分は, アミノ態窒素は「フルーデンR」より高く, 「クローナ」並で, カリウムは「フルーデンR」, 「クローナ」より低く, ナトリウムは「フルーデンR」, 「クローナ」並で, 不純物価は「フルーデンR」より低く, 「クローナ」よりやや低い。

4. 抽苔耐性は「フルーデンR」, 「クローナ」と同じ強である。

5. 耐病性は, そう根病抵抗性が「クローナ」, 「フルーデンR」同様強, 褐斑病抵抗性が「クローナ」より強く「フルーデンR」よりやや強い強, 根腐病抵抗性および黒根病抵抗性が「クローナ」, 「フルーデンR」よりやや強いやや弱およびやや強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意はない。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	ク リ ス タ ー	7.41	18.13	1,344	106	105	111	85	2009～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.97	17.33	1,207	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	7.18	17.95	1,287	103	104	107	95	
十 勝 農 試	ク リ ス タ ー	6.19	16.93	1,037	105	105	109	74	2009～2011
	モ ノ ホ マ レ	5.91	16.20	954	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	6.27	16.68	1,031	106	103	108	81	

注) 不純物価は2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 20-22 (2012)。

(13) えぞまる (系統名 KWS 9 R38) 2012年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第70号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、「かちまる」「ゆきまる」より根重および糖量がかなり優れる。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS4J1812」を種子親に、二倍体多胚系統「PS5RV6048」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2008年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、2009年から「KWS9R38」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 草姿は中間、葉長はやや短、葉数はやや多である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「かちまる」、「ゆきまる」より重く、根中糖分は「かちまる」、「ゆきまる」よりやや高く、糖量は「かちまる」、「ゆきまる」より多い。

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「ゆきまる」よりやや低く「かちまる」並、カリウムが「かちまる」、「ゆきまる」並、ナトリウムが「かちまる」よりやや高く「ゆきまる」より高い。不純物価は「かちまる」並で「ゆきまる」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「かちまる」、「ゆきまる」よりやや弱いやや強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「ゆきまる」と同様の強、褐斑病抵抗性が「かちまる」並で「ゆきまる」よりやや弱い弱、根腐病抵抗性が「かちまる」よりやや強く「ゆきまる」より強い中、黒根病抵抗性が「かちまる」よりやや弱く「ゆきまる」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、多湿となった圃場では根腐れ症状の発生が多い傾向があるので、排水不良な圃場での栽培を避ける、褐斑病抵抗性が弱なので、適切な防除に努める、抽苔耐性がやや強であるため、早期播種や過度の低温による馴化処理は避けることがあげられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	え ぞ ま る	7.89	17.76	1,401	113	102	116	83	2009~2011
	モ ノ ホ マ レ	6.97	17.33	1,207	100	100	100	100	
	か ち ま る	7.60	17.33	1,315	109	100	109	90	
	ゆ き ま る	7.71	17.48	1,347	111	101	112	95	
十 勝 農 試	え ぞ ま る	7.19	17.21	1,226	122	106	129	73	2009~2011
	モ ノ ホ マ レ	5.91	16.20	954	100	100	100	100	
	か ち ま る	6.64	16.42	1,079	112	101	113	80	
	ゆ き ま る	6.34	16.37	1,035	107	101	108	89	

注) 不純物価は2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 23-25 (2012)。

(14) みつぼし (系統名 北海101号) 2012年
登録番号：(北海道) てんさい北海道交第67号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

そう根病、褐斑病および黒根病の抵抗性を持ち、特に黒根病抵抗性は、複合抵抗性の代表的な品種「リボルタ」よりも強い。

来歴 本品種は、北海道農業研究センターがスウェーデンのシンジェンタ種子会社との共同研究によって育成したもので、北農研育成の二倍体単胚雄性不稔系統「JMS

64」を種子親に、シンジェンタ育成の二倍体多胚系統「L40200」を花粉親として交配した二倍体単胚の一代雑種である。2006年に交配を行い、2009年から「北海101号」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は中、葉数は多である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「モノホマレ」より重く「リボルタ」並、根中糖分は「モノホマレ」並で、「リボルタ」より低く、糖量は「モノホマレ」より多く、「リボルタ」並であ

る。

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「モノホマレ」より低く「リボルタ」並、カリウムが「モノホマレ」よりやや低く「リボルタ」よりやや高く、ナトリウムが「モノホマレ」、「リボルタ」より低い。不純物価は「モノホマレ」より低く「リボルタ」より高い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」よりやや弱く「リボルタ」並のやや強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性、褐斑病抵抗性が「リボ

ルタ」と同様の強、根腐病抵抗性が「リボルタ」より弱い中、黒根病抵抗性が「リボルタ」よりやや強い強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意として抽苔発生が多くなる場合があるため、早期播種や、育苗中の過度の低温による馴化処理は避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 農 研	み つ ぼ し	7.29	16.43	1,199	110	101	110	77	2009～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.64	16.30	1,090	100	100	100	100	
	リ ボ ル タ	7.12	16.89	1,204	107	104	110	71	
北 見 農 試	み つ ぼ し	7.58	17.27	1,308	109	100	108	83	2009～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.97	17.33	1,207	100	100	100	100	
	リ ボ ル タ	7.46	17.92	1,335	107	103	111	72	

注) 北見農試の不純物価は2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 37-40 (2012)。